

2024年12月期第3四半期 決算説明会資料

株式会社電通総研
2024年10月31日



目次

INDEX

01 2024年12月期第3四半期決算概況

02 2024年12月期業績予想

03 次期中期経営計画について

Appendix

| 01 2024年12月期第3四半期決算概況

02 2024年12月期業績予想

03 次期中期経営計画について

Appendix

業績サマリ

売上高

金融および製造ソリューションの拡大により前年同期比+6.6%の増収も、通期計画に対する進捗率72.4%は前年同期比▲1.4p

営業利益

人件費を中心に販管費が大幅に増加し、前年同期比▲7.0%の減益。対通期進捗率も前年同期比▲9.7pの64.3%と大幅悪化

受注

第3四半期連結会計期間(7-9月)の受注高はビジネスソリューションを中心に+9.4%拡大。しかしながら下期の売上高成長目標+11.0%には届かず。

通期業績 予想

これらの動向踏まえ、通期業績予想を下方修正。配当予想は据え置き。
売上高1,550→1,520億円(▲1.9%)、営業利益225→200億円(▲11.1%)

連結業績

(単位：百万円)

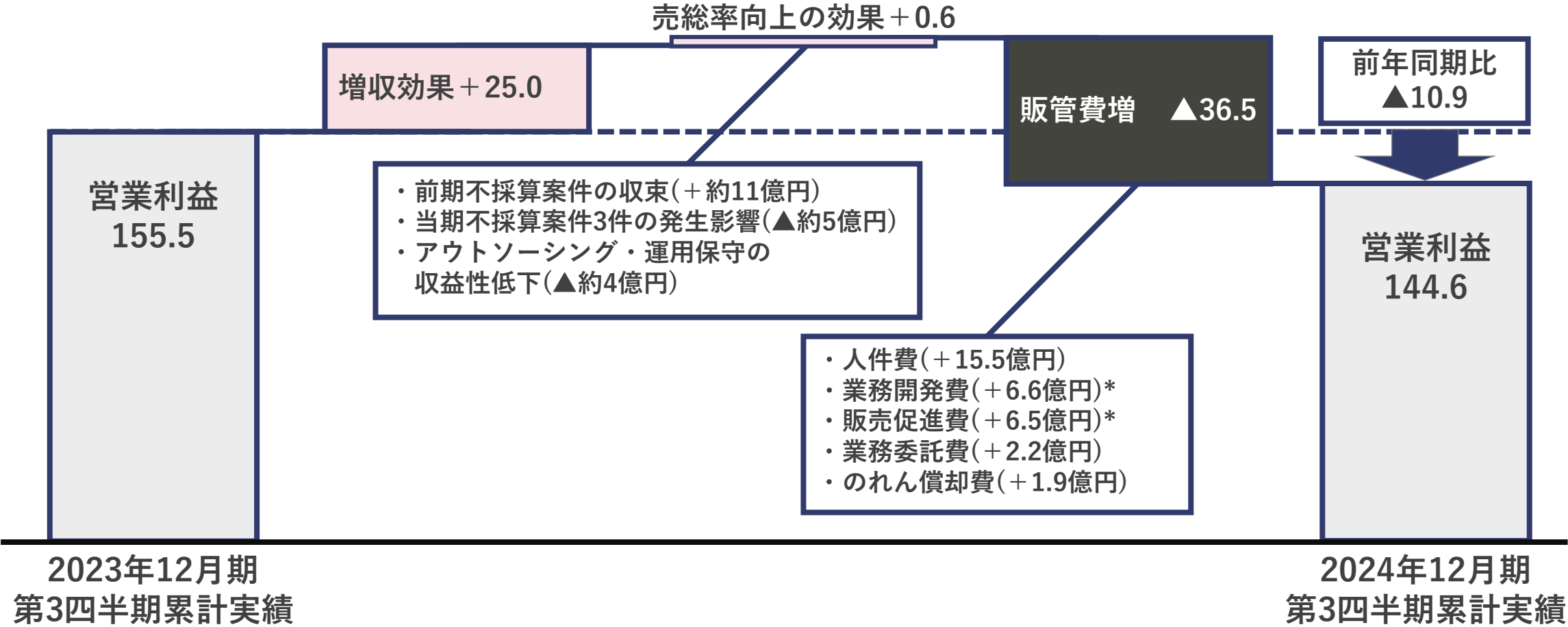
	2024年12月期 第3四半期累計	前年同期比			通期*に対する進捗率(%)	
		前年同期	増減	増減率(%)	2024年12月期 第3四半期累計	前年同期
売上高	112,231	105,267	+ 6,964	+ 6.6	72.4	73.8
売上総利益	40,424	37,859	+ 2,565	+ 6.8	—	—
売上総利益率(%)	36.0	36.0	+ 0.0p	—	—	—
販売費及び一般管理費	25,961	22,307	+ 3,654	+ 16.4	—	—
営業利益	14,463	15,551	▲1,088	▲7.0	64.3	74.0
営業利益率(%)	12.9	14.8	▲1.9p	—	—	—
経常利益	14,413	15,695	▲1,282	▲8.2	64.1	73.9
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,074	10,838	▲764	▲7.0	64.2	73.9
就業人員数(四半期末)	4,400名	3,621名	+ 779	+ 21.5		

* 2024年度は2024/7/24発表予想に対する進捗率。前年度は最終実績に対する進捗率

営業利益の増減要因【前年同期比】

- 増収効果ならびに売総率向上効果があるものの、販売費及び一般管理費が大きく拡大したため営業利益は減益
- 売上総利益率は前期の不採算案件が収束するも、当期も不採算案件が発生したこと等からほぼ前期並み
- 販管費の増加は人員増、基本給引き上げ、技術者の営業サポート工数の増加等によるもの

(単位：億円)



* 業務開発費は主として技術者の非有償稼働工数分の人件費。販売促進費は主に新規案件獲得に向けた技術者の提案活動にかかる人件費。

営業外損益・特別損益

- 持分法投資損失の計上および為替差損の計上等により営業外損益が悪化
- 投資有価証券売却益の計上および投資有価証券評価損の減少により特別損益は改善

(単位：百万円)

	2024年12月期 第3四半期累計	前年同期比		
		前年同期	増減	増減率(%)
営業利益	14,463	15,551	▲1,088	▲7.0
営業外収益	199	180	+ 19	+ 10.5
営業外費用	248	35	+ 213	+ 596.4
経常利益	14,413	15,695	▲1,282	▲8.2
特別利益	320	135	+ 185	+ 136.4
特別損失	25	377	▲352	▲93.2
税金等調整前四半期純利益	14,709	15,453	▲744	▲4.8
法人税等合計	4,634	4,614	+ 20	+ 0.4
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	1	▲1	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	10,074	10,838	▲764	▲7.0

報告セグメント別売上高および営業利益

(単位：百万円)

報告セグメント		2024年12月期 第3四半期累計	前年同期比		
			増減	増減率(%)	概況
金融 ソリューション	売上高	24,021	+ 1,439	+ 6.4	会計領域のソフトウェア商品の販売・導入が銀行業向けに拡大したことに加え、「Lamp」の販売・導入がリース業向けに増加し、増収増益
	営業利益	2,707	+ 130	+ 5.0	
	%	11.3	▲0.1p	—	
ビジネス ソリューション	売上高	17,137	▲329	▲1.9	人事および会計領域で複数の案件がピークアウトし、減収。利益も、減収影響に加え、戦略的な人員配置に伴い人件費が大幅に増加し、減益
	営業利益	3,793	▲778	▲17.0	
	%	22.1	▲4.1p	—	
製造 ソリューション	売上高	34,536	+ 4,717	+ 15.8	システムグランドデザインおよびエンジニアリングを支援するコンサルティングや「Teamcenter」の販売・導入が輸送機器業および電気・精密機器業を中心に拡大し、増収増益
	営業利益	3,616	+ 157	+ 4.5	
	%	10.5	▲1.1p	—	
コミュニケーション IT	売上高	36,535	+ 1,137	+ 3.2	SAPソリューションの導入が機械業を中心に拡大し、増収。利益は、人件費の増加、のれん償却負担および前期の不採算案件が低収益で継続した影響等から、減益
	営業利益	4,345	▲597	▲12.1	
	%	11.9	▲2.1p	—	

* Lamp:リース・ファイナンス業務管理パッケージ、Teamcenter:PLMソリューション

(参考) 第3四半期会計期間(7-9月)連結業績

< 連結業績 >

(単位：百万円)

	2024年12月期 第3四半期 (7-9月)	前年同期比		
		前年同期	増減	増減率(%)
売上高	37,995	35,417	+ 2,578	+ 7.3
売上総利益	13,348	12,296	+ 1,052	+ 8.6
%	35.1	34.7	+ 0.4p	—
販売費及び 一般管理費	9,245	7,397	+ 1,848	+ 25.0
営業利益	4,103	4,898	▲795	▲16.2
%	10.8	13.8	▲3.0p	—

< 報告セグメント別 >

(単位：百万円)

報告セグメント		2024年12月期 第3四半期 (7-9月)	前年同期比	
			増減	増減率(%)
金融 ソリューション	売上高	7,912	+ 51	+ 0.6
	営業利益	866	▲294	▲25.3
	%	10.9	▲3.9p	—
ビジネス ソリューション	売上高	5,419	▲393	▲6.8
	営業利益	1,012	▲406	▲28.6
	%	18.7	▲5.7p	—
製造 ソリューション	売上高	11,842	+ 1,819	+ 18.1
	営業利益	889	▲398	▲30.9
	%	7.5	▲5.3p	—
コミュニ ケーションIT	売上高	12,821	+ 1,102	+ 9.4
	営業利益	1,334	+ 303	+ 29.4
	%	10.4	+ 1.6p	—

サービス品目別および電通グループ向け売上高

(単位：百万円)

サービス品目	2024年12月期 第3四半期累計	前年同期比	
		増減	増減率(%)
コンサルティングサービス	7,472	+ 1,448	+ 24.0
受託システム開発	22,616	▲643	▲2.8
ソフトウェア製品	22,094	▲499	▲2.2
ソフトウェア商品	40,566	+ 5,215	+ 14.8
アウトソーシング・運用保守サービス	13,402	+ 962	+ 7.7
情報機器販売・その他	6,079	+ 482	+ 8.6

相手先	2024年12月期 第3四半期累計	前年同期比	
		増減	増減率(%)
株式会社電通グループ及びそのグループ会社	15,754	▲762	▲4.6

業種別売上高

(単位：百万円)

業種		2024年12月期第3四半期累計		前年同期比	
		売上高	構成比(%)	増減	増減率(%)
	銀行	17,017	15.2	+ 525	+ 3.2
	その他金融	6,569	5.8	+ 1,384	+ 26.7
	金融	23,586	21.0	+ 1,909	+ 8.8
	輸送機器	20,028	17.8	+ 3,629	+ 22.1
	電気・精密機器	12,413	11.1	+ 1,154	+ 10.2
	機械	8,335	7.4	+ 543	+ 7.0
	その他製造	8,108	7.2	▲951	▲10.5
	製造	48,885	43.5	+ 4,375	+ 9.8
サービス・公共		30,365	27.1	+ 519	+ 1.7
流通・その他		9,393	8.4	+ 161	+ 1.7

* 一部顧客の業種を見直したため、前年同期比較については組み替え後の数値を適用しています。

受注高・受注残高

(単位：百万円)

		受注高				受注残高	
		2024年12月期 第3四半期 (7-9月)	前年同期比 増減率(%)	2024年12月期 第3四半期累計 (1-9月)	前年同期比 増減率(%)	2024年12月期 第3四半期末	前年同期比 増減率(%)
合計		35,139	+9.4	122,188	+8.7	63,856	+8.5
報告セグメント別 内訳	金融ソリューション	6,880	▲13.5	23,796	+2.6	7,550	▲10.2
	ビジネスソリューション	5,211	+31.1	17,385	+11.8	8,124	▲2.3
	製造ソリューション	12,136	+8.4	39,733	+7.9	28,312	+12.8
	コミュニケーションIT	10,910	+21.4	41,272	+11.9	19,869	+16.7
サービス品目別 内訳	コンサルティングサービス	3,082	+69.3	8,570	+32.3	2,462	+71.0
	受託システム開発	7,089	+1.2	23,284	+5.7	5,803	+1.5
	ソフトウェア製品	5,779	+13.5	21,822	+4.7	10,499	▲4.2
	ソフトウェア商品	12,878	▲7.7	47,022	+9.3	33,545	+12.5
	アウトソーシング・運用保守	4,873	+93.1	15,653	+12.9	6,338	+28.3
	情報機器販売・その他	1,436	▲16.1	5,833	▲6.0	5,206	▲12.5

目次

INDEX

01 2024年12月期第3四半期決算概況

| 02 2024年12月期業績予想

03 次期中期経営計画について

Appendix

2024年12月期通期業績予想

- 最近の業績動向を踏まえ、通期連結業績予想を下方修正。期末の配当予想は据え置き

売上高：第3四半期会計期間の進捗が弱かったことに加え、受注高も想定を下回る水準

利益：不採算案件の発生等による売上総利益率の想定比低下に加え、営業活動のさらなる強化に伴う販売促進費等が拡大

(単位：百万円)

	前回予想 (2024/7/24発表)	今回予想 (2024/10/31発表)	前回予想比		前期比		
			増減	増減率(%)	前期	増減	増減率(%)
売上高	155,000	152,000	▲3,000	▲1.9	142,608	+ 9,392	+ 6.6
営業利益	22,500	20,000	▲2,500	▲11.1	21,028	▲1,028	▲4.9
営業利益率(%)	14.5	13.2	▲1.3p	—	14.7	▲1.5p	—
経常利益	22,500	20,000	▲2,500	▲11.1	21,244	▲1,244	▲5.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	15,700	14,000	▲1,700	▲10.8	14,663	▲663	▲4.5

2024年12月期通期 報告セグメント別売上高予想

(単位：百万円)

報告セグメント	前回予想 (2024/7/24発表)	今回予想 (2024/10/31発表)	前回予想比		前期比		
			増減	増減率(%)	前期	増減	増減率(%)
金融ソリューション	33,000	32,000	▲1,000	▲3.0	30,598	+ 1,402	+ 4.6
ビジネスソリューション	25,000	23,000	▲2,000	▲8.0	23,107	▲107	▲0.5
製造ソリューション	45,000	47,000	+ 2,000	+ 4.4	41,118	+ 5,882	+ 14.3
コミュニケーションIT	52,000	50,000	▲2,000	▲3.8	47,784	+ 2,216	+ 4.6
合計	155,000	152,000	▲3,000	▲1.9	142,608	+ 9,392	+ 6.6

2024年12月期通期 サービス品目別売上高予想

(単位：百万円)

サービス品目	前回予想 (2024/7/24発表)	今回予想 (2024/10/31発表)	前回予想比		前期比		
			増減	増減率(%)	前期	増減	増減率(%)
コンサルティングサービス	9,500	10,500	+ 1,000	+ 10.5	8,611	+ 1,889	+ 21.9
受託システム開発	34,000	30,000	▲4,000	▲11.8	30,913	▲913	▲3.0
ソフトウェア製品	34,000	30,000	▲4,000	▲11.8	30,237	▲237	▲0.8
ソフトウェア商品	53,000	55,000	+ 2,000	+ 3.8	48,184	+ 6,816	+ 14.1
アウトソーシング・運用保守サービス	17,000	18,500	+ 1,500	+ 8.8	17,108	+ 1,392	+ 8.1
情報機器販売・その他	7,500	8,000	+ 500	+ 6.7	7,553	+ 447	+ 5.9
合計	155,000	152,000	▲3,000	▲1.9	142,608	+ 9,392	+ 6.6

(参考) 第4四半期会計期間(10-12月)業績計画

(単位：百万円)

	今回予想 第4四半期計画 (2024/10/31発表)	前年同期比		
		前年同期	増減	増減率(%)
売上高	39,769	37,340	+ 2,429	+ 6.5
営業利益	5,537	5,477	+ 60	+ 1.1
営業利益率(%)	13.9	14.7	▲0.8p	—
経常利益	5,587	5,548	+ 39	+ 0.7
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,926	3,825	+ 101	+ 2.6

(参考) 第4四半期会計期間(10-12月)業績計画

報告セグメント/サービス品目別売上高予想

< 報告セグメント別 >

(単位：百万円)

報告セグメント	今回予想 第4四半期計画 (2024/10/31発表)	前年同期比	
		増減	増減率(%)
金融ソリューション	7,979	▲36	▲0.4
ビジネスソリューション	5,863	+222	+3.9
製造ソリューション	12,464	+1,166	+10.3
コミュニケーションIT	13,465	+1,079	+8.7
合計	39,769	+2,429	+6.5

< サービス品目別 >

(単位：百万円)

サービス品目	今回予想 第4四半期計画 (2024/10/31発表)	前年同期比	
		増減	増減率(%)
コンサルティングサービス	3,028	+442	+17.1
受託システム開発	7,384	▲269	▲3.5
ソフトウェア製品	7,906	+262	+3.4
ソフトウェア商品	14,434	+1,601	+12.5
アウトソーシング・運用保守サービス	5,098	+431	+9.2
情報機器販売・その他	1,921	▲34	▲1.7
合計	39,769	+2,429	+6.5

目次

INDEX

01 2024年12月期第3四半期決算概況

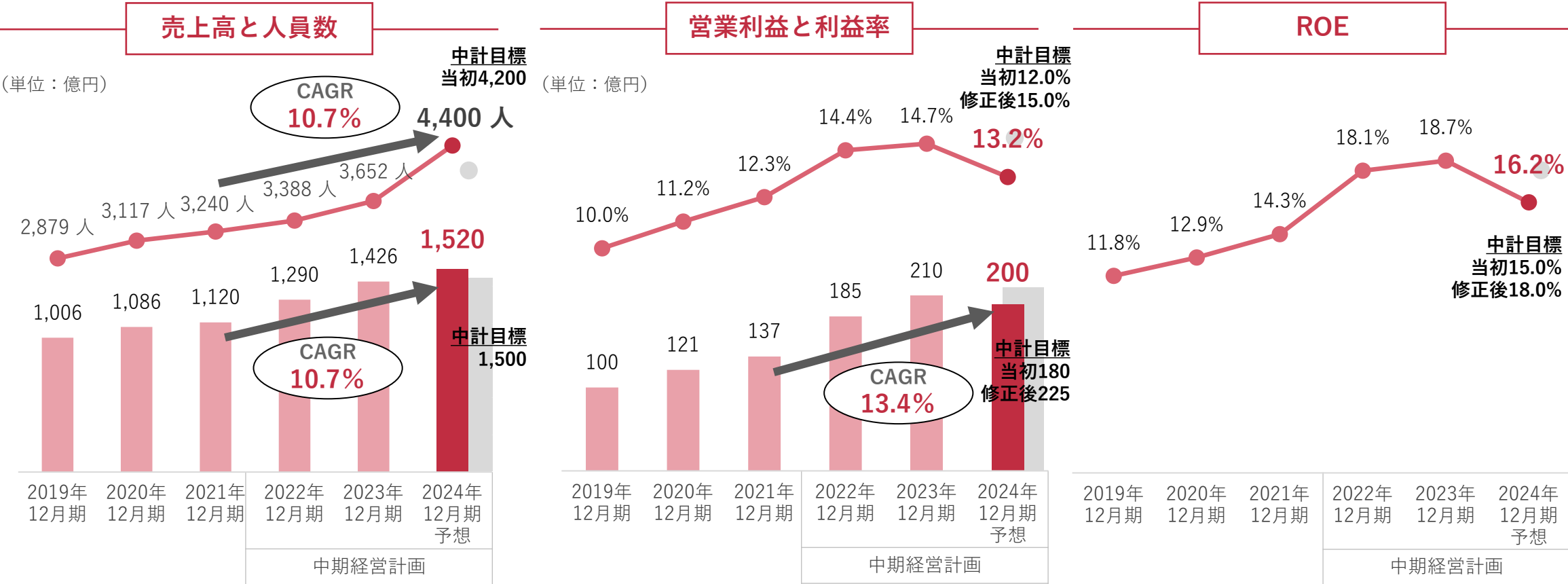
02 2024年12月期業績予想

| 03 次期中期経営計画について

Appendix

現中計の進捗状況（2024年10月時点）

- 売上高・営業利益・営業利益率・ROE・人員数ともに当初設定した目標値はクリアする見通し
- しかしながら、業績好調を受けて2023年に上方修正した新目標値に対しては、十分な案件が獲得できず、未達の見通し



現中計の進捗状況（2024年10月時点）

主要施策の状況

社名変更・処遇改定・各種人事施策実施

～採用力向上し、大幅な増員達成・高成長に向けた人的基盤を整備

コンサルティング機能統合・シンクタンク機能強化

～”社会進化実装”企業へとケイパビリティ拡充・SIとの連携で事業推進

M&A実施

～重要機能の1つを補完・外部成長の取り込みに道筋

次期中計に向けた ポイント

- 「人」と「テクノロジー（独自ソリューション）」の両面で成長基盤の整備が進捗、次期もさらに強化・継続
- 最終年度に鈍化した成長ペースの早期回復に向け、「受注力」や「リソース最適配置力」などの補強に取り組む

次期中期経営計画（2025-2027年） 骨子 ～概要～

中期経営計画スローガン

強みとなるケイパビリティを強化・活用して
企業などの活動を支援し、社会の進化を実装する

定量目標(2027年度)

売上高

2,100億円

営業利益率

15.0%

※ いずれも新規のM&Aを含まない目標

※ 他の定量目標、重要KPI、投資目標等については2024年度の実績確定後に設定予定

次期中期経営計画（2025-2027年） 骨子 ～7つの重点施策～

営業機能の統合

- ・ 複雑化する企業課題に対応するアカウント営業の高度化
- ・ 製品・商品の企画、販売を担当するソリューション営業の強化
- ・ ソフトウェアメーカーとしてのパートナーセールスの拡大

技術機能の統合

- ・ 柔軟なアサインによる高難度・大規模案件への対応力強化
- ・ ノウハウ共有によるプロジェクト品質の向上、PM育成の加速
- ・ 成長領域への人員集中配置

先端テクノロジーの活用

- ・ 生成AI等活用による競争力強化
- ・ 社会課題解決への適用

外部連携の推進

- ・ 電通グループと連携した事業の開発、推進
- ・ 業務提携やM&Aによる機能強化、事業獲得
- ・ 外部ネットワーク連携も活用したシンクタンク強化

独自ソリューション強化

- ・ 競争優位性の向上
- ・ 製品投資の拡大、加速
- ・ 新規事業開発専任組織の新設

経営基盤改革

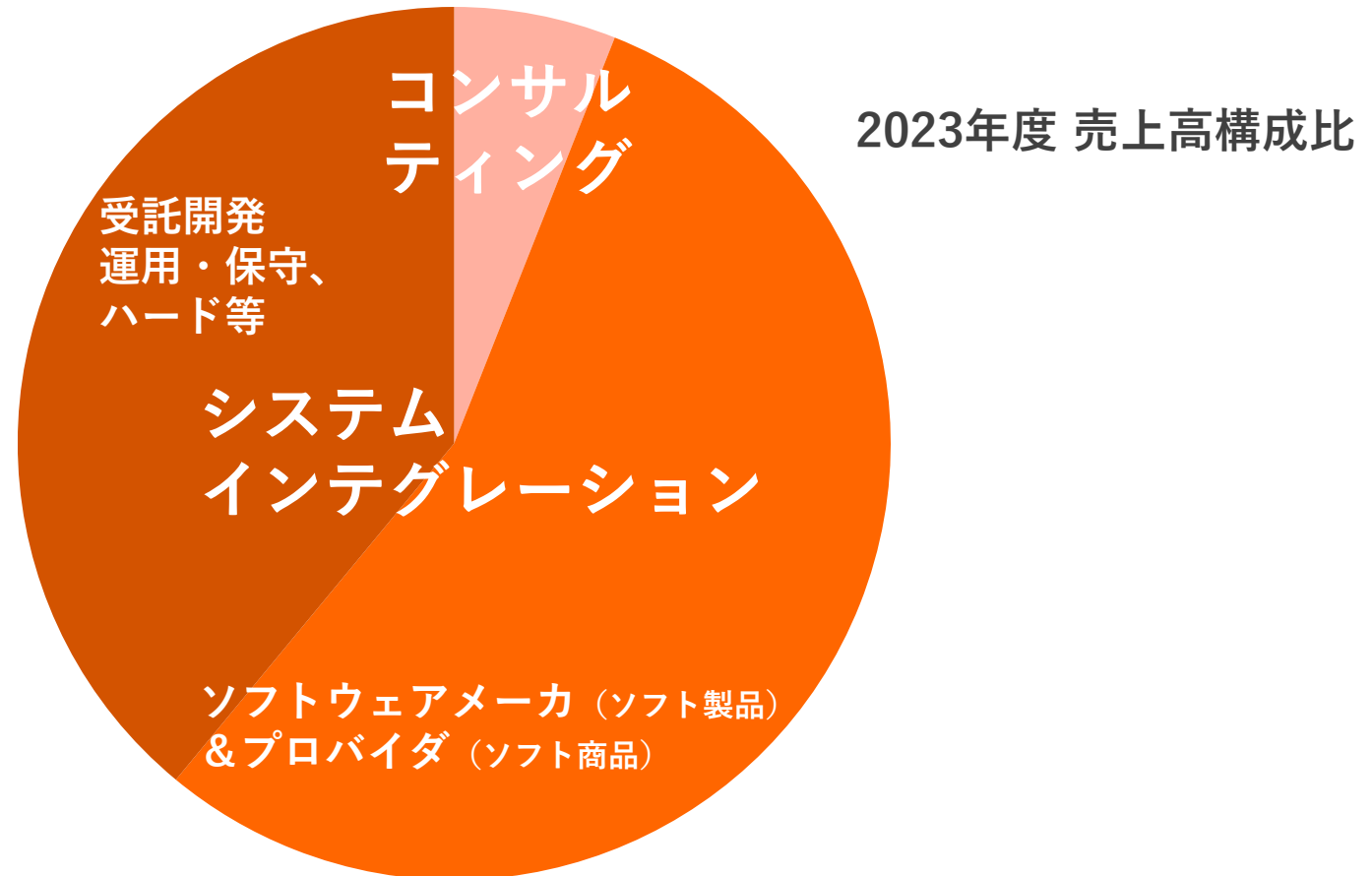
- ・ 経営管理の高度化
- ・ 社内DXによる生産性向上
- ・ サステナビリティ強化

人的リソース強化

- ・ 強化した採用力の継続的発揮
- ・ 教育強化による人材の早期戦力化・競争力向上

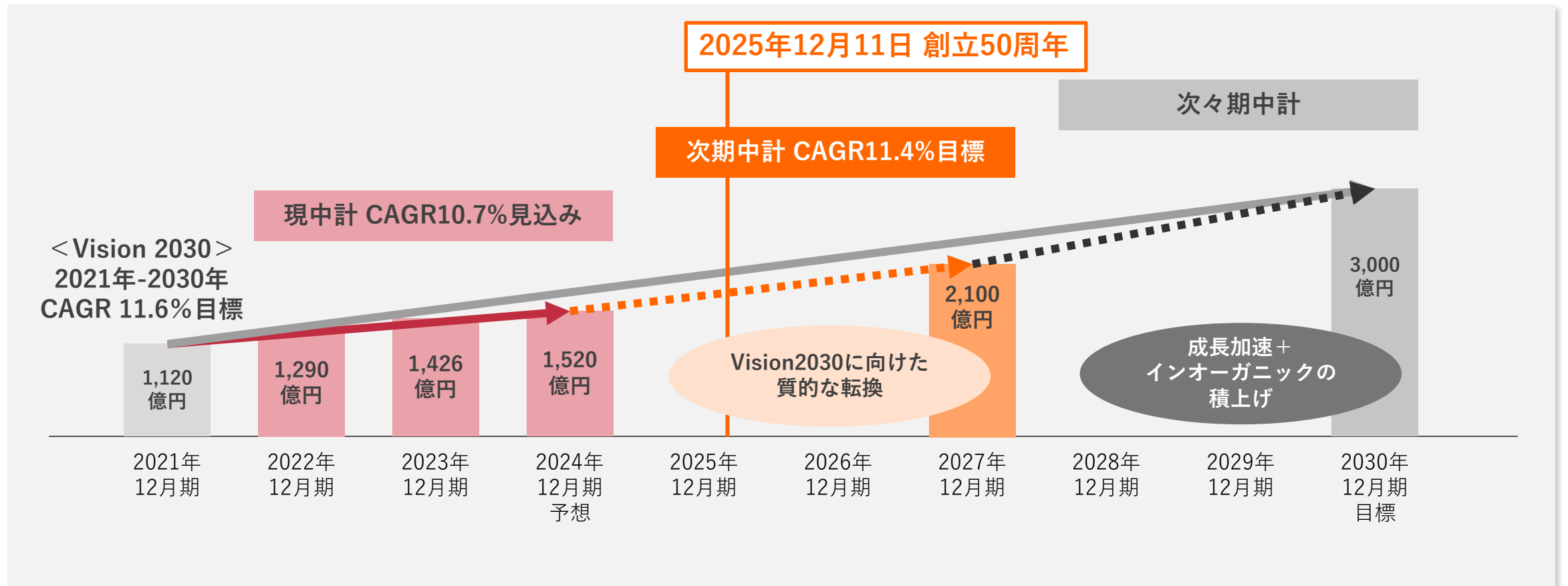
次期中期経営計画（2025-2027年） 骨子 ～強化の方向性～

- 当社の特長はシンクタンク、コンサルティング、システムインテグレーションの機能を持つこと、さらにシステムインテグレーションの50%以上がソフトウェアベースの事業であること
- 各機能を強化し、相互連携することで事業全体を伸ばしていくとともに、中長期的にソフトウェアメーカー & プロバイダの事業比率を増やすなどの質的な転換を図り、高成長・高収益を実現していく



次期中期経営計画（2025-2027年）の位置付け

- 次期中計の目標は「2030年3,000億円」を狙える企業体になること
- 2025年の創立50周年を起点に、質的転換を図っていく



目次

INDEX

01 2024年12月期第3四半期決算概況

02 2024年12月期業績予想

03 次期中期経営計画について

I Appendix

Appendix 主要プレスリリース(2024年8月-10月) 1/2

2024/10/25	リアルタイム3DCGソリューション「UNVEIL（アンベール）」のβ版を提供開始
2024/10/24	金融ビジネス・テクノロジー分野に特化した有識者レポート「電通総研Humanology FinTech Insights」を発表
2024/10/17	「クオリティ・オブ・ソサエティ指標2024」の調査結果を発表
2024/10/16	顧客体験とROIの向上を早期に実現するCDP導入支援プログラム「Quick Activation Pack（クイック アクティベーション パック）」を提供開始
2024/10/10	分野や職種を超えた多様な識者で組織されるコミュニティ「Future Impact Forum」を発足
2024/10/9	人的資本経営を推進する国内企業向けに「人的資本情報開示コンサルティング」サービスの提供を開始
2024/10/4	自社開発のローコード開発プラットフォームの最新版「iPLAss（アイプラス）Ver.4.0」をリリース
2024/10/3	世界100カ国10,000社超の企業調査を行うGPTWの「働きがいのある会社」に3年連続で選出
2024/10/1	「新卒入社の若手社員がおすすめする企業」の第1位に選出
2024/9/30	グローバルで22社目となる人的資本に関する情報開示の国際標準ガイドライン「ISO30414」の認証を取得

Appendix 主要プレスリリース(2024年8月-10月) 2/2

2024/9/26	大垣共立銀行および共立コンピューターサービスと包括連携協定を締結
2024/9/19	発達特性を高度・先端IT領域で活かす「ニューロダイバーシティマネジメント研究会」を設立
2024/9/10	未来の暮らしを構想し、ポストSDGsのビジネスチャンスを発掘する「電通 未来ファインダー100®（2024年版）」を提供開始
2024/8/19	対話型AIプラットフォーム「Kore.ai（コア・エーアイ）」を住信SBIネット銀行へ導入



本資料に関するお問合せ

株式会社電通総研
エグゼクティブオフィス
IR担当



<https://www.dentsusoken.com>



g-ir@group.dentsusoken.com



03-6713-6160
